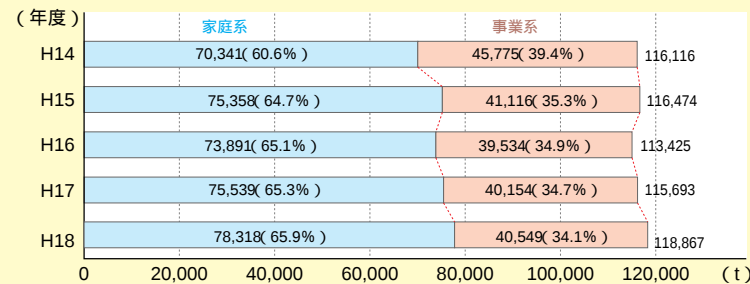


本市のごみ事情

本市では増え続けるごみを減らすために、家庭系ごみの減量施策として、粗大ごみの有料戸別収集(平成13年4月～)、3分別(紙製容器包装・ペットボトル・プラスチック製容器包装)の分別収集(平成14年1月～)を実施しました。また、事業系ごみの減量施策として、古紙類の規制(平成15年10月～)を行いました。

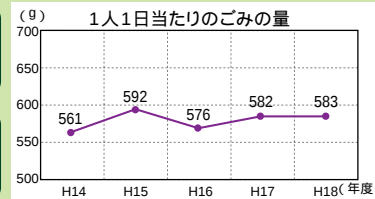
しかし、ごみの量は、平成16年度以降わずかに増加しています。

家庭系・事業系比較



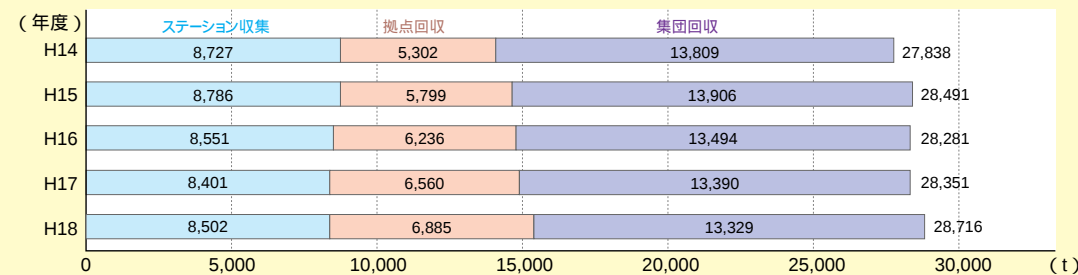
【家庭から出たごみの量(平成18年度)】

〔1年間のごみの量〕
78,318t
〔1日当たりのごみの量〕
215t
〔1人当たりのごみの量〕
213kg
〔1人1日当たりのごみの量〕
583g



平成18年度の一人当たりのごみ処理負担額(資源等含む)は10,649円
(ごみ処理に要する経常経費の予算額から積算)

資源化量の推移

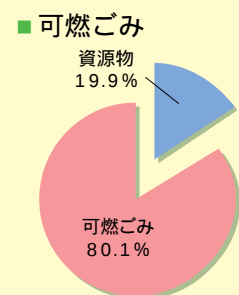


集団回収 - ミニ拠点回収方式分を含む。ステーション収集 - 直接搬入分を含む。

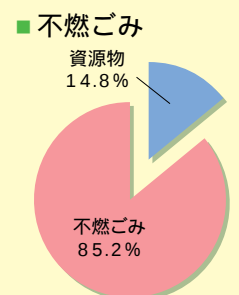
平成18年度ごみ質分析結果

●ごみの中には資源になる物が多く含まれています●

家庭系ごみ質分析結果(ごみステーション分析結果)



新聞(チラシ含む)	4.4%
雑誌	3.0%
ダンボール	0.7%
牛乳パック	0.3%
紙製容器包装	2.5%
布・古着	5.4%
ペットボトル	0.2%
プラスチック製容器包装	3.3%
その他	0.1%



ペットボトル	0.3%
プラスチック製容器包装	4.5%
スチール缶	1.9%
アルミ缶	0.3%
空きびん	0.2%
その他の飲料びん	7.6%
その他	0.0%

平成18年度4回実施の平均

紙類 (8.4%)

資源になる紙類が多く混入されています。

新聞、雑誌、ダンボール、牛乳パック

地域の資源回収
市役所・支所・回収協力店等の
拠点回収へ

生ごみ (45.3%)

可燃ごみの約半分(45.3%)は生ごみです。生ごみを減量すれば可燃ごみの半分が減量できます。

- 生ごみを出すときは、よく水を切ってから出しましょう。
- できるだけ生ごみを出さないように上手に料理をしましょう。

生ごみ処理機を使って
生ごみをリサイクルしましょう

本市では生ごみ処理機の購入に対して、最高2万円の補助金を出しています。

プラスチック類 (4.5%)

プラスチック製容器包装の混入が目立ちます。

上のグラフは重量比のため、可燃ごみの中のプラスチックは約4%と一見少なく見えますが、容積比にしてみるとプラスチック製容器包装は可燃ごみの約10%を占めています。

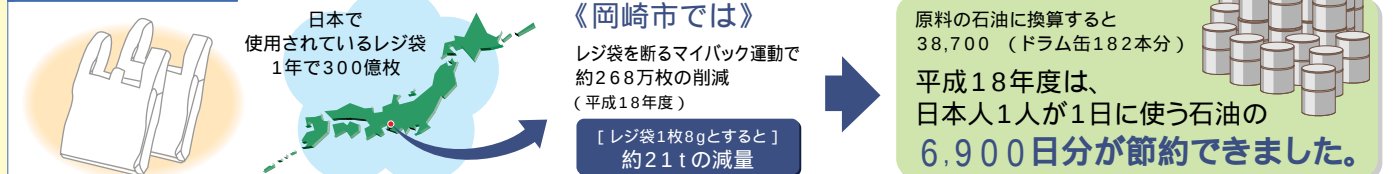
きれいにできるものは
プラスチック製容器包装として出しましょう
買い物袋を持参してレジ袋を断りましょう

協力加盟店で、レジ袋を断るとエコシールがもらえます。エコシールを集めて協力店で金券として使えたり、環境にやさしい製品と交換ができます。

エコシール制度

「エコシール制度」には、買い物袋を持参してレジ袋を断る「エコグリーン行動」、ごみ拾い・草刈りなどの環境美化活動等や、市主催の環境に関する講演会等に参加する「エコボランティア行動」があります。これらの行動によって集めたエコシールは、枚数に応じて市役所・市内の支所で環境にやさしい物品と交換できたり、シール20枚で協力加盟店で100円として利用できます。

エコグリーン行動



エコボランティア行動

平成18年度は、
市民の8人に1人が、清掃活動等のボランティアに参加している計算になります。

ボランティア清掃に積極的に参加することによって、地域の環境美化に対する意識が向上し、きれいなまちを維持することは、ゴミのポイ捨て抑制につながります。

エコグリーン
エコボランティア

枚数に応じて、環境にやさしい物品と交換できます。
協力店では、**20枚で100円**として利用できます。

エコシール制度キャラクター「エコヒット」

エコシール制度協力加盟店は随時募集中です!!
詳しくは、環境総務課総務班(電話 23-6401)まで

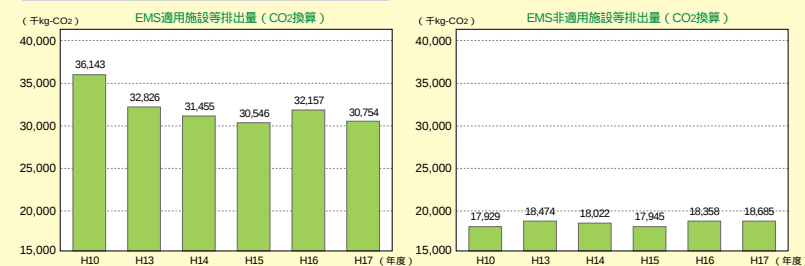
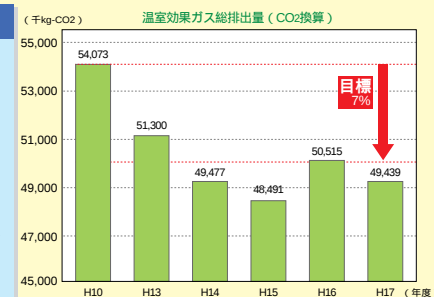
岡崎市地球温暖化対策推進実行計画

～岡崎市役所から排出される温室効果ガス削減に関する計画～

地球温暖化対策の推進に関する法律第21条に基づき、本市のすべての事務及び事業から排出される温室効果ガスを削減するために、削減目標及び具体的な取組みや行動を示した計画を策定しています。

第1次計画

計画の期間
平成13年度～17年度(5年間)
基準年度: 平成10年度
基準年度における温室効果ガス総排出量
54,072,647kg - CO₂
削減目標
平成17年度までに基準年度対比7%削減
実績
8.57%削減(目標達成)



EMSの運用により削減がすみ、目標を達成することができました。
EMS非適用施設については、簡易版EMSなどの導入を検討していきます。

EMS...環境マネジメントシステムの略。岡崎市役所は、本庁舎等について平成12年7月に国際規格ISO14001の認証を取得しました。以後対象範囲を広げながら、環境への負荷を低減するために継続的改善を図っています。

岡崎市地球温暖化防止隊

岡崎市地球温暖化防止隊は、人類にとって極めて重大な課題となっている地球温暖化を防止することを目的として、地域で地球温暖化対策を推進するための組織です。

市民、事業者、行政が構成員となり、日常生活での温室効果ガス排出抑制をしていくために、連携して活動しています。平成18年6月17日(土)に開催された『環境シンポジウム2006』にて、発足宣言をしました。

岡崎市環境シンポジウム2006

平成18年6月17日(土)
岡崎市せきいりホール
発足宣言
体験コーナー運営



出前講座

【平成18年度実績】
地域・団体: 5団体79人
小学校: 3校255人



環境展

平成18年11月4日(土)
5日(日)
乙川河川敷

【平成18年度実績】
自転車発電体験: 830人
風呂敷講座: 200人
省エネ診断: 300人
静電気体験: 100人
手回し発電体験: 300人

会員随時募集中!

動機は何であれ、一緒に勉強し、行動しましょう。
知識・能力・技術は一切問いません。

お問合せ先
岡崎市役所環境総務課
電話: 0564-23-6685